令和８年 11 月 20 日（金）
香川県立三木高等学校
教頭　福井　　教諭　山地
TEL　087-891-1100
FAX　087-891-1551



フィンランドの高校生が三木高校を訪問

令和８年１２月７日（月）～９日（水）にフィンランドの高校生１０名が、三木高校にやってきます。１２月５日（土）に来県し、三木高生の自宅でホームステイをしながら、本校の授業を一緒に受講します。また、放課後には近隣の神社やお寺を回ったりして日本の文化にも触れる予定です。

記

１　目　　的　　日本の家庭生活や高校生活を体験するとともに高校生と交流を図る。

２　日　　時　　令和８年１２月７日（月）～９日（水）　９：００～１５：００（予定）

３　来校予定　　フィンランド　ムンッキニエミ中等教育学校高等部（以下、ムンッカ高校）
生徒１０名（男子６名、女子４名）引率教員２名

４　体験内容　　それぞれバディを組む三木高生と授業を一緒に体験

特色のある授業・行事

12月7日(月)13:30～15:00(予定)
三木高校周辺の神社、お寺巡り

12月8日(火)13:00～15:00
三木中学校訪問
（こちらを取材する場合は三木町教育委員会にお問い合わせください）

12月9日(水)11:30～12:10(4校時)
総合学科1年「多文化共生」にて三木高生60名と交流
ムンッカ高校生によるフィンランドの紹介・発表

５　バ デ ィ　　香川県立三木高等学校　１，２年生１０名

６　三木高校とムンッカ高校との交流について

令和6年に国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）のさくらサイエンスプログラム【ジオから学ぶ瀬戸内の産業と文化】で香川に来県した。その際に招へい元である香川大学インターナショナルオフィス植村友香子（うえむらゆかこ）特命准教授の計らいにより三木高校の生徒と交流を図ることになった。

昨年からは、ムンッカ高校から直接依頼を受け、上記プログラムから独立した形で交流を図ることになった。

７　ムンッカ高校での日本についての学び

「日本文化と日本理解」という授業の一環として香川県を訪問する。フィンランド語に訳された日本の小説を読みレポートを書いて話し合ったり、明治時代以降の日本の歴史について学んだりする。

また、10月末よりバディを組む本校生からメールを送り、参加する授業や休日の過ごし方について打合せを行っている。

※昨年の交流の様子

高松空港でのお出迎え



ランチタイム



「多文化共生」でのフィンランド紹介

